

小平市 農業委員会だより



発行:小平市農業委員会 〒187-8701 小平市小川町2丁目1333番地
電話:042-346-9533(直通) FAX:042-346-9575

令和6年2月(2024年)
第28号

農業委員会が新たな体制となりました

小平市農業委員会委員改選に伴い、令和5年7月20日より第25期小平市農業委員16名が活動しております。



会長 福島 浩幸
仲町
農業者団体推薦

この度、第25期農業委員会長を仰せつかりました。小平農業の発展のために尽力する決意です。

相続等により農地が減少してしまうことは避けられないことですが、その中で、令和4年度の小平市における特定生産緑地制度への移行率が97%以上という高い水準となったことは、小平市農家の農業に対する想いの現れだと感じております。

昨今は都市農業における農地の防災機能、緑地空間としての機能、身近な食育の場としての機能などの多面的機能が評価されております。一方で、都市農業には様々な課題があり、農地を残すためには相続税納税猶予制度や生産緑地制度、都市農地貸借円滑化法等の現行法のもとでそれを十分に理解し、有効に取り入れていくことが益々大事になっております。

小平市の農業を守り、今後も益々発展していけるよう、農業委員全員で力を合わせて取り組んでまいりますので、なお一層のご理解ご協力をお願いいたします。



会長職務代理 川島 敏明
御幸町
農業者推薦

小平市の令和3年版統計資料によると、農地の経営耕作面積は平成24年188haから10年後の令和3年159haへと15%減少しています。この減少率が続くと遠くない将来、農地は半減してしまいます。貴重な都市農地を存続させる努力が今こそ必要と痛感します。

農地保全の制度として、生産緑地・相続税納税猶予、都市農地貸借円滑化法等がありますが、その内容は複雑で理解するのに苦労します。しかし、これらの制度を十分に理解し活用することが、農地を残す基本になると思います。

小平市内の農地を少しでも多く残していけるよう、関係団体並びに農業委員の皆様と協力して農家の皆様への周知を推進して行きたいと考えております。

小平市農業委員会紹介

任期：令和5年7月20日～令和8年7月19日

プロフィールは上から
所属部会、氏名
住所、選出区分です。



経営部会長
小川 裕明
小川町1丁目
農業者推薦

就農して40年、当初は生産性・収入の向上を目的とした農業経営をしていましたが、次第に農地の多面的機能が注目され始め、地域貢献が不可欠と感じるようになりました。私も時代に沿った経営をしてきましたが、少々歳をとった今、担い手問題も視野に入れていきます。今後は、より一層の農地利用最適化と担い手問題を的確に捉え、農業・農地について考えてまいります。



土地利用部会長
井上 幸雄
学園東町2丁目
農業者推薦

就農して35年、近隣の宅地化が進み、周辺では農家は私の所だけになりました。消費者が近く、直売中心の農業経営を行っております。都市農地を守っていくためには、継承していくための環境を整備することも必要と思っております。農地の持つ意義とその重要性を、職務を通じて考え、伝えてまいります。



経営部会副部会長
竹内 良子
天神町2丁目
農業者団体推薦

種まきが大好きです。芽がちゃんと出るか心配ですが、土を押し上げ出てきた芽はそれぞれ特徴のある姿をしていて、とてもかわいいものです。立派な野菜に育ち近所の方々や私達家族を心身共に潤してくれます。先祖が開墾し、受け継いできた畑があってこそできる事です。「畑は分けるものではなく未来に残すもの」という世間の風潮になればと考えています。



経営部会
浅見 知秀
小川町2丁目
農業者団体推薦

私はJA職員として勤めながら家業で主に果樹生産を行ってきました。都市農業振興基本計画において、都市農地が「宅地化すべきもの」から都市に「あるべきもの」へと転換されましたが、市内農業者の抱える高齢化や後継者問題等が解決されたわけではありません。JAで培った知識と経験を活かし、地域住民に理解される農地を残せるよう尽力してまいります。



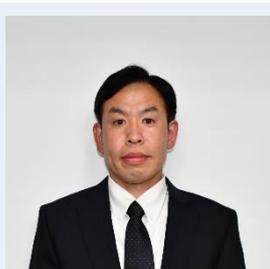
経営部会
尾崎 信幸
大沼町6丁目
農業者推薦

私は主に梨を栽培しておりますが、安全・安心な農作物を作ることに加え、都市農業においては市民の農業への理解が必要不可欠であると感じております。そのためには、農地の機能をより発揮できるような取り組みや各種制度の活用など様々な方法がありますので、農家の皆様の手助けができるよう、一生懸命責務を果たしてまいります。



経営部会
加藤 繁雄
小川西町4丁目
農業者推薦

就農して14年、宅地化が進み住宅に囲まれた畑で近隣の皆様と良い関係を保ち、安全・安心な作物を作ることを心掛けています。最近は高齢者が増え、直売所はお客様の話し合いの場にもなっており、コミュニティの形成の場としての機能を感じております。農業委員として、目先の事よりも今ある課題に丁寧に取り組んでいきたいと考えています。



経営部会
村野 幸徳
小川町2丁目
農業者団体推薦

私自身、都市農業を営む者として安全・安心な農産物を届けることはもちろん、同時に農地の持つ魅力を市民の皆様伝えて行くことも重要な事だと思います。農地の多面的機能が見直され地域に必要な存在として認識されつつある現在、農業委員としてその重要性を発信し地域にそして小平市に貢献していく所存です。



経営部会
森田 建一
上水本町4丁目
農業者推薦

就農して34年になりますが、当時は、全国各地で植木市場が盛んで、小平でも夜中まで競りが行われていました。都市農業を取り巻く環境は年々厳しくなり、相続での農地減少は避けられない状況となっています。農業委員として、都市農業のあり方を見直し、より一層の農地保全を推進できるよう努力してまいります。



土地利用部会副部会長
中村 貞子
大沼町3丁目
農業者団体推薦

就農してから45年が過ぎました。畑ばかりの景色から住宅への広がりには驚きます。その中で「子供が喜んで食べます」、「野菜ってこんなに生き生きしているんだ」などの声に励まされ、食の大切さ、地産地消の大切さを多くの方に広めていきたいです。
農地を継承するためには、様々な困難はありますが、あらゆる方面からの力を借りて、皆様の役に立てる様にとっております。



土地利用部会
金子 敦
花小金井南町1丁目
農業者推薦

就農して20年、継承されてきた農地を継いで貰えるように、丁寧に作り・販売し、地域で認知、信頼される農業経営を心掛けています。経営は細々ですが、直売所に足を運んで下さるお客様から喜びや活力を頂いています。
都市農業の継承には様々なハードルがありますが、小平の農地を残していけるよう制度の周知に努めてまいります。



土地利用部会
酒井 充
小川町1丁目
農業者推薦

私は主に野菜を育てています。減農薬栽培等も行っており、気候によっては害虫・病気も出て苦労しますが安全・安心を心がけています。父から受け継いだ農地は生産緑地に指定し、納税猶予制度を活用して管理しています。農地を残していく為、これからも勉強し都市農業の発展のため頑張ると同時に、私自身も農業委員として精進してまいります。



土地利用部会
清水 幸世
学園西町1丁目
応募申込

還暦を過ぎ、時間ができるとロードバイクで出かけています。街中を走っていると農地が少しずつ変化していることに気づき、都市農業が抱えている農地の問題などを実感します。安全・安心で美味しい野菜を作り続けるためには、農地はなくてはならない存在です。農地を守り、住宅と共存し、調和のとれた都市農業のあるまちづくりのため力を尽くしてまいります。



土地利用部会
高橋 浩幸
花小金井8丁目
農業者推薦

就農して40年以上たちますが、その間、農地は減少し、住宅と農地の混在化が益々進んでいます。小平市の農家が引き続き安全・安心で新鮮な野菜を食卓へ届けられるよう、農地の保全を推進できればと考えております。農家の所得向上により、農業を選ぶ人が増え、小平農業が発展するよう努めてまいります。



土地利用部会
滝島 眞二
小川町2丁目
農業者推薦

住宅に囲まれた農地のため、近隣に配慮しながら、オーガニック栽培や自然栽培等を学び、音の出る機械や農薬に頼らない野菜作りを目指しています。孫達の大好きな昆虫等がいるおかげで畑に来る機会が増え、種蒔きや収穫、販売の手伝いをしてもらえるようになりました。農業委員として、地域との調和をはかる事が農地の維持に繋がることと考えております。

令和5年11月11日・12日

小平市 産業まつりが 開催されました

農産物の宝船→



令和5年11月11日（土）及び12日（日）に小平市産業まつりが市役所本庁舎立体駐車場にて開催されました。

農業部門は各種団体による模擬店、野菜・花・植木の即売などの催し物が行われ、多くの方にご来場頂き、大変賑わいました。

今年から解禁された飲食ブースでは、焼き団子や、すいとん、焼き芋、さといもコロケのお店が立ち並び、どのお店でも来場者の非常に楽しい表情と賑わいを見る事が出来ました。

今年には都内で猛暑日となった日が観測史上最も多く、過酷な作業環境であったにも関わらず、品評会には数多くの優れた農産物が並び、生産者の皆様の高い技術力と農業に対する熱い想いを感じる事が出来ました。また、農産物即売会にも多くの来場者の姿があり、消費者の「小平産」への支持の高さを再認識することが出来ました。

今回の産業まつりに携われた実行委員会の皆様そして関係者の皆様に深く感謝し御礼申し上げます。

農業者年金に 加入しませんか？

農業者年金は、自ら積み立てた保険料とその運用益で将来の年金額が決まる「積立方式」の公的年金です。支払う保険料の全額が社会保険料控除の対象で、運用益も非課税です。

お問い合わせは農業委員会まで

全国農業新聞を 購読しませんか？

全国農業新聞は、農業委員会ネットワーク機構である「全国農業会議所」が発行する週刊紙です。最新の農業情勢のほか、地域の話題やイベント情報も掲載されています。

■月4回 金曜日発行
■購読料 700円(送料、税込み)
お問い合わせは農業委員会まで

NOSAI東京収入保険に 加入しませんか？

収入保険は、農作物の販売収入の減少を補てんします。

●お問い合わせ

東京都農業共済組合

(NOSAI東京)

042-381-7111

編集後記

農業委員会改選に伴い、編集委員も新しいメンバーになりました。

今後も農業委員会だよりを通じて、農業委員会活動の内容や都市農業を取り巻く最新の状況などを広く、そしてわかりやすく情報発信し、農業者の皆様には有益な情報を、市民の皆様には小平農業の元気な姿を伝えていきたいと考えております。

小平市農業委員会及び農業委員会だよりを今後ともよろしくお願いいたします。

【編集委員】井上幸雄、清水幸世、中村貞子、村野幸徳